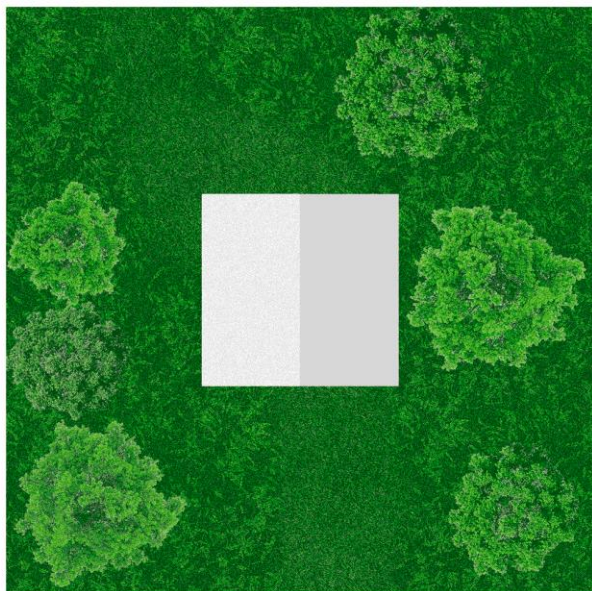
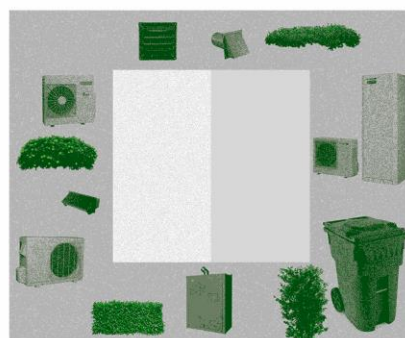


「内にひらく家」

THE SUBURBAN DILEMMA



DREAM



REALITY

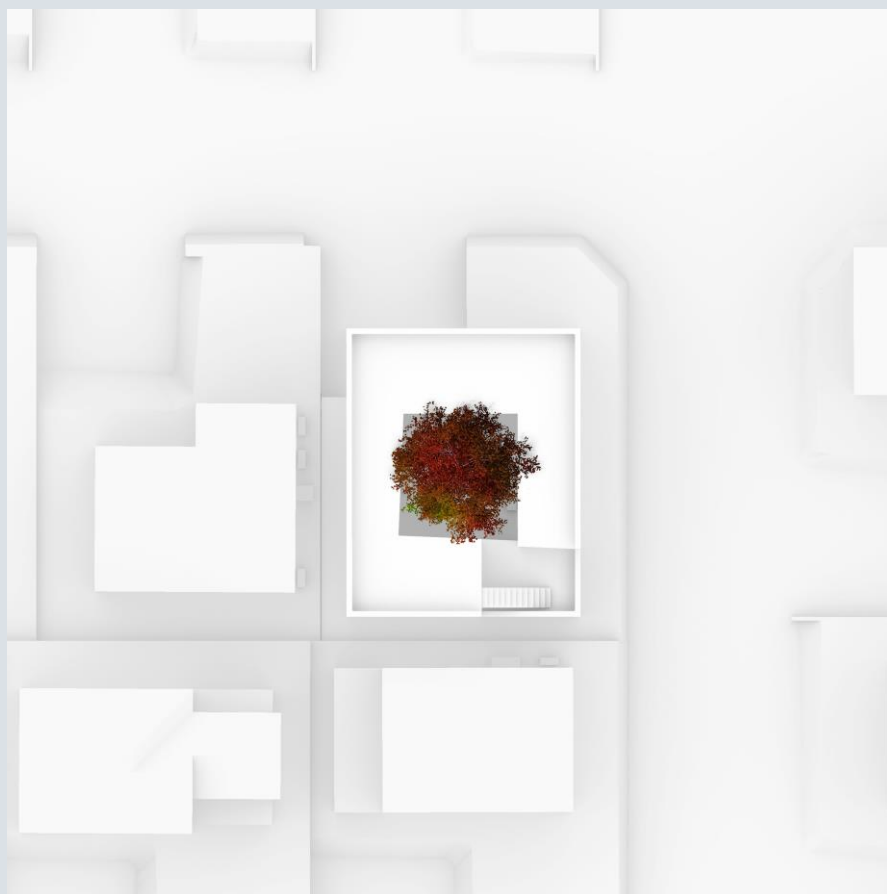
vs

理想と現実

庭には緑のみが広がっている…のが理想ですが、人々が生活しているからには、ゴミ箱や室外機など、生活感あふれる物が置かれているのが現実です。

そんな理想と現実のジレンマを、「内にひらく」ことで解決します。

「内にひらく家」

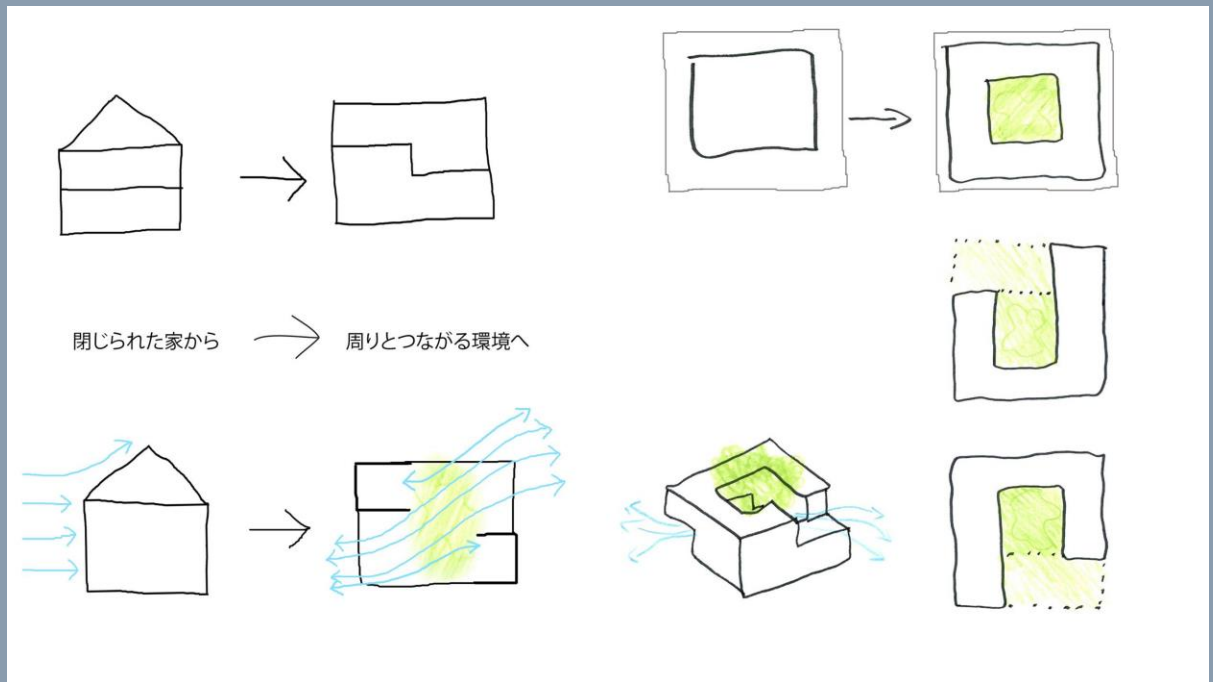


内にひらく

外窓を最小限にし、大きくとった中庭に視線が向く「内にひらく家」であるため、周囲の生活感や雑多な印象を感じさせないつくりになっています。

内に入るとプライベートな空間が広がります。

「内にひらく家」



閉じられた家から → 周りにつながる環境へ

周りにつながる

外窓は最小限としていますが、決して閉じられた空間ではなく、中庭を介して、周りにつながる開放感のある設計となっています。